

国立大学法人 鹿児島大学
学長 佐野 輝 殿

2020 年 3 月 4 日

鹿児島大学教職員組合
中央執行委員長 丹羽佐紀

令和 2 年 2 月 19 日付け回答書内の疑問点に対する回答書

令和元年 11 月 20 日付の当組合からの団体交渉申し入れに対し、2 月 19 日付でご回答いただきありがとうございます。この回答書の中に具体的な事例や場所の提示を求められた部分が 3 点ありましたので、以下に文章で回答いたします。

7. 「職階ごとの厳正な勤務実態調査」「管理職以上教職員の組織運営に関する自己点検・評価」及び「大学組織改革前後の成果と教職員の労働状況の変化の調査の実施と結果公表」

(3) 文部科学省への報告のために組織改革として「バーチャルな」組織を作ることで人件費を増加させずに乗り切る工夫をしているが、実態として職員の業務が増え、事務職員は翻弄されるばかりで、有益な成果が出ているのか不明な組織もある。このような組織に関する具体的成果と教職員の労働状況の変化を、外部評価して公表することを要求する。

大学側からの「回答」

(3) “文部科学省への報告のたのに組織改革として「バーチャルな」組織・・・”との記載について、具体的に提示いただき対応を検討させていただきたい。

組合からの回答

- ・ 労務調査室
- ・ 基金渉外係
- ・ 学長戦略室
- ・ 奄美群島拠点

などが挙げられる。上の 3 つは兼務の方ばかりで、一部欠員も見られ、実体があるか疑問である。また、奄美群島拠点は実在するのか？これら組織の効果が挙げられているのか、兼務職員の労働強化につながっていないか懸念している。

13. 大学通りの環境整備 (夜間照明・冠水しない舗装道路の整備)

大学側からの「回答」

具体的に冠水場所を提示いただきたい。確認の上、鹿児島市へ相談します。

組合からの回答

- 1) 大学通り北側歩道の共通教育棟 4 号館の南側の倉庫周辺

同様に学内の冠水がひどいところとして、組員から以下の 2 か所も挙げられている。

- 2) 理学部 1 号館北側(ふれあい通りから西門に抜ける)通路
3) 農学部研究棟 D 棟北側の駐車場

詳細は別紙参照。早急な改善を希望する。

15. 出張等事務手続きの迅速かつ効率的な処理、及び手続きマニュアルの作成

(1) 海外関連業務を含む公務遂行のためめ事務手続きを迅速に行うよう改善依頼の件について

大学側からの回答

(1) 海外関連業務を含む公務遂行のためめ事務手続きを迅速に行うよう改善依頼の件について

- ・ ご指摘の内容がどの事務手続きを指しているのか不明です。

組合からの回答

具体的には海外出張の際の、旅費、学会参加費などの立替払い手続きである。

この要望を挙げてくれた教員が、2月19日付けの回答書に対して、以下のようにコメントしているので、以下に報告する。

「大学側からの回答書を興味深く読ませていただきました。

結論から言いますと、やはり大学で働いてずっと感じているのは、事務手続きは不正防止という名の「犯人扱い、ハラスメント行為」です。

本来は、明確なルールがあって、それに沿って個人が手続きをして研究などを進めるべきかと思います。そして、犯罪などが生じた場合は罰せられるべきです。

しかし、実際のところ、ルールがない、あるいはどこにあるか分からない。また、あってもそれだけ済むような状況が存在しない。曖昧な表現(適正な、十分な書類など)のせいでどんどん追加で書類を求められ、疲弊する。

回答にあった「旅行者本人が支払ったかどうかを確認したい」というのもびっくりしました。航空券購入の際に大体旅券番号なども入力しないといけないので、名前が印刷されている半券を提出しただけで確認が済むはずですが。効率をよくするために頭を使わないといけないですね。そこが問題でしょうか。頭が固い集団には無理ですね。

悲しいことにこのような集団が皆の仕事の量を増やし、自分たちでも何が何だか分からない状況を自ら作っていることにも気づいていない。

もう溜息出るばかりです。このような表現があるかどうか分かりませんが、このような不合理なやり方のせいで脳みそが痛い。あり得ないの連続です。

オフィスのある方に言われました。「先生は外国人で理解できなくて苦しいかもしれませんが、そのうち慣れますよ」と。この慣れますよというのは私にとっては「脳死」を意味します。(苦笑い)」

13. 大学通りの環境整備（夜間照明・冠水しない舗装道路の整備）について

別紙

郡元キャンパス

法文学部
教育学部
理学部
工学部
農学部
共同獣医学部

理工学研究科
臨床心理学研究科
連合農学研究科

